

平成 24 年 1 2 月 2 6 日

津市総合計画審議会

会長 武 田 保 雄 様

久居地区地域審議会

会長 大 幡 貞 夫

津市総合計画後期基本計画案に係る意見・提言について

津市総合計画後期基本計画案について、当審議会では慎重に審議を行った結果、おおむね適当であるとの結論に至りました。

なお、審議の過程で出された意見・提言について、下記のとおりとりまとめましたので、同計画に係る津市長への答申に当たっては、この内容を十分尊重していただきますようお願いいたします。

記

1 「第 2 章 目標別計画」について

- (1) まちづくりの目標の「4 活力のあるまちづくり」に関し、「4-2 交流機能の向上」に係る基本施策の「第 1 項 都市機能の整備」の施策内容である「(2) 交流拠点の整備」の「② 副都市核の整備」に係る施策について、ハード面だけでなくソフト面も含めた取組とする記述を検討されたい。

(理由)

当審議会におきましては、副都市核として位置付けられた久居駅周辺地区の賑わいづくり、近鉄久居駅から新町、二ノ町、本町商店街を経て、津市久居庁舎に至る界隈の活性化について多くの時間を割いて議論してきました。このことから、久居駅の東西を含めた当地域の中心市街地の活性化について、ハード面だけでなくソフト面も含め今後 5 カ年において具体的な取組を誘導できる表現を追記していただきたい。

- (2) まちづくりの目標の「5 参加と協働のまちづくり」に関し、「5-2 市民との協働の推進」に係る基本施策の「第 1 項 市民との対話と連携の推進」の施策内容である「(3) 即答・即応し実現する市役所づくり」に係る施策について、特に地域拠点である総合支所において着実に推進されたい。

(理由)

「即答・即応し実現する市役所づくり」につきましては、「第2項 総合支所における地域住民との協働」と併せ、地域拠点である総合支所の果たすべき役割が非常に大きいと考えます。その一方で、「第5章 計画を推進するために」の「第1項 行財政改革の推進による健全財政の確保」において、定員管理の適正化・職員数2,500人体制が掲げられており、合併以降現在に至るまでの久居総合支所の職員数の推移を見ると、果たして“即答・即応できる総合支所”が実現できるか危惧することから、関係施策の推進に当たっては、総合支所の人員配置に十分配慮しつつ取組を推進していただきたい。

- (3) まちづくりの目標の「2 安全で安心して暮らせるまちづくり」に関し、「2-1 安全なまちづくりの推進」に係る基本施策の「第1項 終わりのなき防災施策の強化」の推進に当たっては、地域の活動基盤となる各地域の自主防災組織への女性を始めとするあらゆる世代の参画を促進する取組を進められたい。

(理由)

まちづくりの目標の「2 安全で安心して暮らせるまちづくり」に関し、「2-1 安全なまちづくりの推進」に係る基本施策の「第1項 終わりのなき防災施策の強化」の施策内容である「(6) 災害対策の体制強化」の「③ 津市防災会議の活性化」において、「女性委員の登用をはじめ、多様な視点からの意見を伺うための委員の参画を進めます。」との記述がありますが、自主防災力の強化に当たっての地域の活動基盤となる各地域の自主防災組織にあっても、多様な意見を活動に反映させていくため、女性を始めとするあらゆる世代の参画を促進する記述の追記を検討していただきたい。

2 「第3章 重点プログラム」について

- (1) 重点プログラムの「元気づくりプログラム」における「③ 若者定住プログラム」の施策「ワーク・ライフ・バランスの推進」につきましては、子育て世代を対象とした子育てをしやすい社会づくりを目指した取組と考えますが、施策の推進に当たっては、子育て世代だけでなく、様々な人生の段階に応じた取組も併せて推進していただきたい。

(理由)

子育て世代だけでなく、あらゆる人たちに、市民一人ひとりがやりがいや充実感を持ちながら働き、仕事上の責任を果たすとともに、家庭や地域生活などにおいても、子育て期、中高年期といった人生の各段階に応じて多様な生き方が選択・実現できることを指すというワーク・ライフ・バランスの考え方の浸透を図りつつ、施策の推進を図るべきと考えたため。

(2) 重点プログラムの「地域かがやきプログラム」における「① 東部エリア」及び「③ 中部エリア」の施策の推進につきましては、当審議会での前期基本計画における事業評価結果や後期基本計画についての審議を進める中での様々な意見、提言等を踏まえ、別紙のとおり、各エリアごとに事業案を作成いたしました。

提案内容といたしましては、

- ① 新規提案事業（後期基本計画期間中に着手を図られたい事業）
- ② 既存の補助事業等を活用し実施を検討されたい事業
- ③ 前期基本計画期間中から継続の事業（地域かがやきプログラムの趣旨に照らし、今後、一般予算への移行や事業成果に応じた取扱いを検討されたい事業）

の3つに分け整理いたしました。

今後の施策の推進に当たりましては、これらを参考にされ、真に地域がかがやくための取組を推進されるようお願いいたします。

後期基本計画における地域かがやきプログラムの体系図

【東部エリア ～キラリと輝く人づくり・まちづくり～】

地域が望む将来像の実現に向けた施策		施策の展開方向	久居地域における具体的事業
1	拠点を活かした地域づくり	(1) 高等教育機関との連携推進によるまちづくり	
		(2) 産業活動の活性化	
		(3) 市民力の拠点形成	
		(4) 情報の集積と発信	
		(5) スポーツ・レクリエーション等を通じた生きがいづくり	1 市民あったか憩いの場事業 11 久居灯音彩～ハチ公前のキャンドルナイト～ ● サマーフェスタひさい事業 ● ひさいまつり事業
		(6) サンデルタ香良洲の環境整備	
		(7) ユニバーサルデザインのモデル地域づくりの推進	
		(8) 減災のまちづくり	2 防災を核とした地域づくり事業
		(9) 歴史文化の賑わいの創出	
2	社会を担う人づくり	(1) 多様な人材の育成	3 地域リーダーの人材発掘事業（人材銀行） 4 ふれあいこどもまつり事業 5 男女共同参画のまちづくりモデル事業 ● 津市民大学 雑学人づくり塾事業
		(2) 多文化共生の地域づくり	
		(3) 伝統文化の伝承と賑わいの創出	
3	地域連携による交流の推進	(1) 鉄道を活かした交流の推進	6 久居駅東口美化事業 ● 鉄道で巡るおもてなしルート設定事業
		(2) 海を活かした交流の推進	

【北部エリア ～都市や自然と共存するふれあいの里づくり～】

1	スポーツ・レクリエーション活動等の促進	(1) スポーツ・レクリエーション拠点の形成
		(2) エリアに広がるスポーツ・レクリエーションの輪
		(3) 自然・歴史資源を活かしたスポーツ・レクリエーションの充実
2	地域資源を活かした活力の創造	(1) 地域産品による観光交流の促進
		(2) 地域の連帯感に根ざした交流の促進
3	自然と親しむ環境づくり	(1) 経ヶ峰の自然が育む交流と健康づくり
		(2) 美里水源の森を核とした美しい里づくり
		(3) 森と湖の環境整備

…新規提案事業(後期基本計画期間中に着手を図りたい事業)
 …既存の補助事業等を活用し実施を検討されたい事業
 …前期基本計画期間中から継続の事業
 (地域かがやきプログラムの趣旨に照らし、今後一般予算への移行や事業成果に応じた取組を検討されたい事業)

【中部エリア ～みのりどぬくもり郷(さと)づくり～】

1	温泉リフレッシュゾーンの魅力アップ	(1) 温泉利用客誘致への魅力アップ	7 榊原温泉散策ルート設定事業 ● 湯の瀬フラワーガーデン整備事業 ● 花街道景観整備事業 ● 榊原温泉マラソン大会
		(2) 温泉×ウォーキングの推進	● 榊原温泉ふれあい朝市事業
2	食のブランド化	(1) 地産地消の促進	8 榊原地域活性化事業
		(2) 特産品づくりの推進	10 榊原温泉郷地域活性化計画策定事業 ● 榊原温泉ふれあいの郷イベント事業 ● 久居地域づくり活動支援事業
3	地域力の再興	(1) 地域のふれあいと活動の推進	9 榊原温泉振興・活性化事業
		(2) 美しい河川環境づくり	
		(3) 一志体育館西側市有地の利活用	

【南部エリア ～健康で暮らせる自然と歴史の地域づくり～】

1	健康で元気な人づくり	(1) 多様な主体と連携した集落機能の再生
		(2) 暮らしの安心・安全づくり
2	自然の恵みの価値創造	(1) 森林を活かしたヘルスツーリズムの推進
		(2) 自然を活用した産業の活性化
		(3) 豊かな自然環境の中での居住
3	歴史と文化の拠点の整備	(1) 歴史と文化の拠点整備
		(2) 住民との連携による歴史・文化の保全と活用

久居地域における具体的事業の
 ・1～11は、地域審議会からの提案事業
 ・●は、平成24年度地域かがやきプログラム事業

地域かがやきプログラムの久居地域における具体的事業【新規事業】

	事業名	事業主体	事業目的	事業内容	既存の類似補助事業等
1	市民あったか憩いの場事業	地域住民 商店街 行政	久居の空き店舗を利用するとともに、高齢者の交流や仲間づくり等を通じて、孤独感や不安感の解消等を図り、毎日笑顔で過ごせることを目的とする。	交流や仲間の場を提供するとともに、高齢者の買い物難民の解消のため、日用品、惣菜等の販売をする。	・ふれあい生きがい活動支援事業
2	防災を核とした地域づくり事業	地域住民	地域住民が主体となった防災組織づくりをすることにより、来るべき災害に備えるとともに、住民一人ひとりが持てる力を出し合った地域づくりをする。	小学校区単位等での ・防災計画、避難所運営マニュアルづくり ・避難訓練、避難所運営訓練等の実施 ・地域リーダーの発掘・育成	・自主防災活動活性化事業 ・自主防災協議会支部活動事業
3	地域リーダーの人材発掘事業（人材銀行）	行政	・地域かがやき事業を促進するには、まず人材が必要。 ・課題達成の方策として、良き人材の発掘・育成を図りそれぞれの課題に適した人材で、NPO、団体を設立し、市民参加のまちづくりを目指す。	・人材発掘…公民館講座受講者等より発掘する。 ・人材公募…具体的な事業内容を明示し、公募を行う。（市民会館、市民ホール管理者等） ・人材募集…市の行事運営のボランティアの募集を行う。（まつり、清掃等）元気な高齢者、余暇活動のできる女性等の活躍の場所づくり、生きがいづくりと、廉価な人材確保で、全年齢層参加の住みよい活気あるまちづくりを進める。	・ハローワーク ・シルバー人材センター ・生涯学習支援ボランティア ・生涯学習情報バンク
4	ふれあいこどもまつり事業	ふれあいこどもまつり実行委員会	青少年の健全育成として、家庭・地域・学校それぞれが子供の育ちに責任を持ち、かつ、小学生や中学生、高校生の地域活動への参加を促進するとともに、地域のコミュニティを構築することを目的とする。	・高校生、中学生の実行委員を公募し、実行委員会を作り、企画、運営していく。 ・体験的なメニューを多くして、いろいろな体験をしてもらう。（木工、竹細工、エコ製品等） ・ステージイベントを開催し、子供たちのグループの発表の場とする。（太鼓等）	
5	男女共同参画のまちづくりモデル事業	地域住民（自治会等 地域団体）	・地域住民の男女共同参画意識を高めるとともに、男女共同参画に基づいた実際の地域づくりができるようにする。 ・5年後に、他9地域に先進事例が示せるようにする。	・自治会等に対する男女共同参画出前講座の実施 ・女性リーダー養成連続講座の実施 ・補助金の交付（役員男女比が4:6～6:4） ・実践報告集の発行 （男女共同参画みえネットが他市と協働で行っている事業を参考にする。）	
6	久居駅東口美化事業	津商工会議所 女性会	「上野英三郎博士とハチ公」の銅像が建立されたことにより、久居駅東口が注目されることから、久居駅東口の環境美化に努め、地域にふさわしいまちづくりを推進することを目的とする。	・草花の植え付け及びその管理 ・周辺の清掃及び除草 ・その他美化に有効な活動	・緑化・美化運動
7	榊原温泉散策ルート設定事業	榊原地区 ガイド会	榊原地域の四季を通じて、花木や自然、まつりや地域の行事・文化財など地域住民や観光客の視点で地域資源の掘り起こしを行い、観光振興に資するとともに、榊原地域の豊かな自然環境や、そこに暮らす人々の魅力を多くの方々に知っていただくことを目的とする。	フォトコンテストを開催し、入賞作品の撮影場所を観光ポイントとして指定し、榊原温泉おもてなし館を起点とした散策ルートの提案を行う。	・観光ボランティアガイド活動支援事業
8	榊原地域活性化事業	榊原自然学校	榊原地域の豊かな自然を活用したメニューを決め、広く募集し、賑わいを創出して、榊原地域の活性化に繋げていくことを目的とする。	木工教室、竹細工教室、ネイチャークラフト、田植え体験、自然観察会、虫取り体験、化石発掘体験、そば打ち体験、こんにやく作り体験、野菜作り体験、ほたる鑑賞会、フォトコンテスト、かかし作り体験、餅つき体験、里山整備体験（草刈り体験）、川の観察会、榊原再発見ウォーキング、古代米五平餅作り、古代米みたらし団子作り、灯籠まつり、星空観察会、夏休みわんぱく自然学校、キャンプ、孫との体験、親子の体験、いもほり体験、おぼろ餅作り体験	・榊原温泉振興協会補助事業
9	榊原温泉振興・活性化事業	榊原地域の住民を中心とした協議会	子供たちと緑豊かな環境を守り、育てる活動と身近な緑を活用して、こどもたちに緑とのふれあいの機会を創出するとともに、榊原温泉の利用客の増加を図ることを目的とする。	・地域にふさわしい身近な緑の創出と保全（桜、紅葉、椿等の植樹、ばら、ふじ、あじさい、ゆり等の花壇の設置） ・緑とふれあう学習、レクリエーションの場の創造（ウォーキングコース、こどもキャンプ場の整備、自然学校の設立） ・緑と人がともに成長する住民参加の活動（樹木の保護、植栽、草刈、池づくり、鳥巣箱の設置）	・津市広葉樹植栽奨励補助事業 ・緑の募金交付事業 ・花王・みんなの森づくり活動事業 ・宝くじ「桜」「松」配布事業
10	榊原温泉郷地域活性化計画策定事業	久居総合支所	榊原温泉郷地域を活性化させるためのビジョンを策定することにより、地域、行政、旅館が連携し、「訪れたい、住みたい、温泉郷」を目指し、地域課題の解決に向けた効果的な取り組みを行うことを目的とする。	榊原温泉郷地域活性化基本構想・基本計画の策定	
11	久居灯音彩～ハチ公前のキャンドルナイト～	実行委員会	緑の風公園を拠点に、地域住民を主体とした参加型イベントを開催することにより、久居駅周辺地域の賑わいを創出するとともに、住民のふれあい交流機会の拡充を図る。	・地域住民によるキャンドルホルダーの作成 ・キャンドルアーティストや地域住民が作成したキャンドル等の点灯 ・キャンドルとイルミネーションの灯りによる幻想的な空間の中でのアコースティックライブの開催 ・公園内のシンボルツリーや藤棚のイルミネーション装飾 ・イルミネーションコンテストの開催 ・「上野英三郎博士とハチ公」の銅像のライトアップ	

…新規提案事業
 （後期基本計画期間中に着手を図りたい事業）

…既存の補助事業等を活用し実施を検討されたい事業